

平成 25 年度教育委員会評価について

平成 26 年 10 月
雲南市教育委員会

この報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(第 27 条)の規定に基づき、平成 25 年度の教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、作成・公表するものです

平成 25 年度教育委員会の活動状況

- 雲南市教育委員会では、本年度が、平成 22 年度に策定した「第 2 次雲南市教育基本計画」の 4 年目となります。
- 雲南市の目指す教育の基本目標を「ふるさとを愛し 心豊かでたくましく 未来を切り拓く 雲南市の人づくり」とし、
 1. 夢に向かって生き生きと学び、知恵と創造性に富む人づくり
 2. 人・もの・こととの出会いによる人間性豊かな人づくり
 3. 健やかな体でたくましく生きる人づくり
 4. 自然・伝統・文化を基盤として、社会の変化に対応して生き抜く力のある人づくりをめざし、4 つの基本的な方向を定め、4 つの具体的施策に基づき事業を実施してきました。
- 平成 25 年度の教育委員会の運営に関しては、教育委員会と事務局との連携を重視しています。会議については、地域の様々な教育行政課題に迅速かつ的確に対応できるように、月 1 回の定例会だけではなく臨時会や懇談会を開催しました。様々な立場の委員が意見を言うことによって、「教育」の専門家だけの判断に偏ることなく、社会の常識や住民ニーズが反映されるよう努めたいと考えています。
- 全国的ないじめ事案をめぐる、教育委員会と学校、また、首長との信頼関係が問題となりました。「はだしのゲン」をめぐる閲覧制限では、同じような問題が指摘されました。教育委員会では学校現場の現状を理解し、現場の声を聴くことから信頼関係の構築を図りたいと考えています。
- 教育委員会会議以外にも、各種式典行事等への参加のほか、本年度から教育委員が市内すべての小中学校への学校訪問を行い、授業を公開していただき、学校長との意見交換を実施しました。今後も継続していきたいと考えます。
- 一貫した教育理念に基づく教育の充実を期し、平成 21 年度から本格実施された『『夢』発見プログラム』（改訂版平成 25 年 3 月発行）を中心として、「キャリア教育」を重要施策として位置付け、その中で学校教育、社会教育、家庭教育それぞれの役割を明確化すると同時にその協働を一層推進するよう取り組んできています。

- さらに、平成 25 年 4 月島根県教育委員会より「地域でつなぐキャリア教育モデル事業」の指定を受け、保・幼・小・中の連携に加え、高校や地域と連携した取り組みを始めました。

- 平成 25 年度、全国的にいじめ問題が大きな社会問題となり、国では「いじめ防止対策推進法」が施行されました。本市でもこれまでいじめ問題の解決に向け取り組んできましたが、いじめの防止、いじめの早期発見、いじめへの対処のため、「雲南市いじめ防止基本方針」を策定するとともに、市内全校において「学校いじめ防止基本方針」を定めました。

- 平成 25 年度版「雲南市の教育」の 4 つの目標施策に掲げた事務事業について評価し、各目標施策の執行状況について総括的評価を行いました。

- 平成 25 年度の教育委員会の会議・活動としては資料 6 頁のとおり行いました。

平成25年度版雲南市の教育に基づく事業の執行状況

目指す方向

1. 発達課題を踏まえた質の高い学校教育の推進

重点施策

学校の組織力の向上と教育内容・方法の充実により、子どもたちの「社会を生きぬく力」を育む。

総括的評価

- 計画した事務事業は、個別評価表のとおりすべて実施しました。今後も、達成状況を踏まえ、今後の方向性を視野に入れて継続、拡充するよう努めます。
- 雲南市学校自主企画事業「学校夢プラン」は、校長が、学校経営ビジョンを遂行するために有効な市独自の事業であり、子どもたちの「生きぬく力」の育成につながるものであり、今後も継続していく必要があると考えます。
- 確かな学力定着のための各種学力調査やアンケートQUなどの結果を分析・考察し、ユニバーサルデザインに基づいた授業づくり、家庭学習の推進、生活習慣（メディアの適切な利用）の確立をさらに進める必要があると考えます。
- 学校司書を3校に配置しました。読書活動の推進や授業の資料収集など、図書館教育の充実に大きな役割を果たしています。また、図書ボランティアも22校に配置しました。
今後は、学校司書の増員を図るとともに、司書ボランティアとの情報交換や研修の機会を設定することが必要と考えます。
- ①不登校児童・生徒への支援は、教育支援センター、教育相談センター等の施設や、スクールソーシャルワーカー活用事業、心の架け橋支援事業、子どもと親の相談員配置事業、教育支援コーディネーター・社会教育コーディネーター等の活用により、充実を図ってきていますが、それぞれの実績から課題を把握し、相互の連携、人員の確保や支援時間の拡充などについて検討し、今後も解消に向けた努力をする必要があります。
- ②近年増加傾向にある特別な支援を必要とする子どもへの支援として、学校支援員の配置をしていますが、現場からの要望も多く、可能な限り専門性を持った支援員の配置や現状に応じた人員配置が必要です。また、通級指導教室も3校に設

置していますが、早期対応の重要性から考え、幼児期専門の教室設置に向けて検討が必要と考えます。

- ①、②への総合的な支援拡充のために、「不登校支援学校」や「発達支援センター」の設立について検討を進める必要があります。

目指す方向

- 2. 一貫した教育理念に基づく教育の充実

重点施策

保・幼・小・中の連携・接続による特色のある学校教育を推進する。

総括的評価

○計画した事務事業は、個別評価表のとおりすべて実施しました。今後も、達成状況を踏まえ、今後の方向性を視野に入れて継続、拡充するよう努めます。

○本市の特色である、キャリア教育推進プログラム「『夢』発見プログラム」は、保・幼・小・中の連携・接続について見直し改善を図ってきています。また、家庭や地域での取り組みを加え、学校・家庭・地域・行政の連携・協働により一体となって進めていくよう努めています。

○キャリア教育のめざす、「一人一人の社会的・職業的自立へ向け、基盤を養うとともに、人としての生き方について考え夢に向かってたくましく生き抜く力を、学校教育、社会教育の協働によって育てる教育」を推進することは、本市の教育基本目標「ふるさとを愛し 心豊かで たくましく 未来を切り拓く 雲南市の人づくり」につながる重要な教育施策であり、今後も充実・発展させていきます。

○「夢」発見プログラムの具体的事業である幸雲南塾 in さんべ事業は、年々事業内容に改良を加え、高校生、大学生がスタッフに加わり活動事業に厚みが増しました。このことは中学生、高校生、大学生のスタッフ双方にとって好循環を成しており今後の発展が期待されます。

目指す方向

3. 社会全体で取り組む教育力の向上

重点施策

学校・家庭・地域・行政の協働を推進し、社会全体の教育力を向上させる。

総括的評価

○計画した事務事業は、個別評価表のとおりすべて実施しました。今後も、達成状況を踏まえ、今後の方向性を視野に入れて継続、拡充するよう努めます。

○「教育支援コーディネーター（教育委員会職員）（地域住民）」「社会教育コーディネーター」の学校配置は雲南市の独自システムであり、この制度を活かすことが教職員の負担軽減はもとより、学校・家庭・地域・行政の協働による教育の推進につながると考えます。

○地域全体で学校を支援することは、教職員の負担軽減を図るとともに、地域の方々の力を学校支援へ向けていただくことにより地域の教育力の向上と学校と地域で協働して子どもを育てる意識の醸成につながり、有効な施策と考えます。平成25年度も延べ2万人余りのボランティアの皆さんに学校を支援していただいています。今後も継続・拡充していく必要があると考えます。

目指す方向

4. 子どもたちの安全・安心の確保と健康で文化的な教育環境の整備

重点施策

安全・安心な教育環境の実現と健康で文化的な環境の整備

総括的評価

○計画した事務事業は、個別評価表のとおりすべて実施しました。今後も、達成状況を踏まえ、今後の方向性を視野に入れて継続、拡充するよう努めます。

○市内全小中学校の耐震化事業が本年度完了しました。幼稚園、小学校、中学校の施設には耐用年数が近づいたものもあり、計画的に改修、更新などの整備計画の策定を進めたいと考えます。

平成 25 年教育委員会の活動

(1) 会議・活動の開催状況

項目	単位	平成 25 年度	平成 24 年度	増減	事業内容
定例会	回	12	12	0	毎月 1 回開催
臨時会	回	6	3	3	必要に応じ開催
懇談会	回	9	12	▲ 3	毎月 1 回開催
傍聴者数	人	3	0	3	
視察研修	回	1	1	0	必要に応じ実施

(2) 審議の状況

項目	単位	平成 25 年度	平成 24 年度	増減	事業内容	
定例会審議案件	件	101	86	15		
	報告事項	件	23	15	8	
	承認事項	件	19	11	8	
	審議事項	件	37	29	8	
	協議事項	件	0	1	▲ 1	
	教育長報告	件	22	30	▲ 8	
臨時会審議案件	件	9	5	4		
懇談会協議件数	件	17	36	▲ 19		

(3) 定例会・臨時会・懇談会以外の活動状況

項目	単位	平成 25 年度	平成 24 年度	増減	事業内容
学校訪問	件	24	0	24	